

事務事業 No./名称	■サービス部門 ことども-01 児童福祉運営事業 □支援部門							
主管課	ことどもみらい課	関連課	保育課・ことども相談課					
分野名	健康福祉							
目標 (目標値)	児童福祉事業の円滑な執行を図る。							
人口等の データ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考			
	人口	177,204人	177,161人	176,669人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯				
運営資源 状況	事業の対象者数							
	決算値(千円)	1,194	1,198	2,238				
	(国・県)							
	(負担金等)							
	(一般財源)	1,194	1,198	2,238				
	人員配置数	1.0	1.0	1.0				
	人件費(千円)	9,450	9,274	9,534				
事務事業 運営経費	協働の パートナー							
	総事業費(千円)	10,644	10,472	11,947				
	市民1人当 りの経費(円)	60	59	68				
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	対象者1人 当りの経費(円)							
	団体名⇒							
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)	
		目標値						
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値						

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	
児童福祉運営事業	1,194千円	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒ ■A □B □C □D □E
	事業の概要	児童福祉審議会の運営と児童福祉事業に係る非常勤嘱託員の報酬の執行				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	子どもの家利用料について検討するに当たり、児童福祉審議会を開催する予定であった。
課題解決のための取組	具体的な子どもの家利用料の検討については、現在検討中の「子どもの家運営指針」を平成24年度に策定した後に行うこととしたため、平成23年度は児童福祉審議会を開催しなかった。
未解決の課題	

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了
	➡	②妥当性 ○		鎌倉市立保育園の民営化計画や、子ども・子育て新システムへの対応など、今後の鎌倉市における保育のあり方などについて児童福祉審議会へ諮問を行い、鎌倉市の児童福祉を推進していく。	↓
③有効性 ○		A			ことどもみらい課長
④公平性 ○					相澤 達彦

(2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果
児童福祉運営事業	主な個別事業	60 児童福祉審議会委員報酬	104	0	■適切 □見直し余地あり
		60 事務補助嘱託員報酬	1,028	1,028	■適切 □見直し余地あり
		60 非常勤嘱託員等費用弁償	93	92	■適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり